

日新輝道



東大阪市立日新高等学校

校長室通信 2021.08.26 発行

返事！あいさつ！声！ダッシュ！！

「勝因」とは「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」、「敗因」とは「いい加減」「適当」「だいたい」、
今すぐできることは「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

日新高校は「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」で「日本一」輝きを放つ学校を目指します！

日新高校を日本一輝かせるために！ ～一人ひとりの輝き～

この夏の大きな話題の一つは東京オリンピック 2020 だったのではないのでしょうか。コロナ感染症拡大の影響で、オリンピックを開催するにあたり多くの議論がなされ、今もなおその議論は続いています。高校生の諸君は、まさにこうした問題にも真剣に考え、深く探究し、自分の意見や意志をしっかりと持って欲しいと思っています。

今回の開会式では 1824 台のドローンが描く見事な市松模様のエンブレムが披露され、続いてドローンが移動し地球を描いた球体模様が映し出されました。この日の東京は晴れで、1824 台のドローンが描く模様と、バックの夜空、また国立競技場を中心とした東京の夜景などすべてがマッチし、幻想的でもありました。美しく輝くためには、どの要素も欠けてはならないし、また 1824 台すべてのドローンが、一つずつの輝きを放つ必要があります。オリンピック開催中のどの場面を切り取っても、出場選手の姿だけではなく、コーチや地元で応援する方々、家族、仲間やライバル、さらに競技施設や街の様子等、多くの場面が選手の活躍とマッチし、その一つひとつのすべてが美しく輝く要素を構成していました。

日新高校での日常の一場面をジグソーパズルに例えてみましょう。日新高校が「日本一」輝きを放つ学校となるためには、その一つひとつのピースが、オリンピック開会式のドローンのように、個々に美しい輝きを放っていなければなりません。そしてそれらは、個々の輝きが一つに終結して、全体の調和がとれた美しい絵となり、さらなる輝きを放ちます。日新高校での日常の一場面をジグソーパズルに例えたとき、ジグソーパズルの一つひとつのピースを構成する主役は、まさしく日新高校の生徒そのものです。オリンピック開会式当日のドローンが描く市松模様の背景にあった夜空や街の風景は、日新高校の玄関や花壇、教室や廊下、グラウンドや体育館、トイレ、自転車置き場、部室といった学校環境ではないのでしょうか。夜空や街の風景が美しいように、日新高校の生徒が描く場面が美しく輝くためには、その背景も美しく輝きを放っていなければなりません。この美しさは、見た目の美しさと、その施設を使い、その場所で活躍する生徒自身の気持ちが含まれます。校務員さんに校舎のいろいろなところを整備していただいたり、花壇をつくっていただいたり草抜きをしていただいたりしていることへの感謝の気持ちを持つだけでなく、自分たちでできる掃除や整理整頓も、ちょっとした気持ちの持ち方で、その集団やチームの意識が磨かれ変化が表れてきます。部活でグラウンド整備をするのにトンボをかけたり、水撒きをした

り、体育館の床にモップをかけたり、倉庫を整理したり、また、部室を整えたり道具や用具を磨く様子も、良いチームとそうでないチームには必ず差があります。ぜひ、日新高校のあらゆる場面のジグソーパズルを美しく輝かせたいものです。

野球部予選の日、球場スタンドで見た1シーン

夏休みの最初、野球部が地方大会の初戦に挑みました。残念ながら結果は次へと駒を進めることはできませんでしたが、その球場でキラリと輝く一場面を見ました。当日は、炎天下という言葉がふさわしく、まさしく夏の甲子園を想像させる天気でした。応援席には先生や保護者、OBや野球部関係者など、多くの方々が応援に来られていましたが、その中に本校のラグビー部の生徒たちも駆けつけてくれていました。野球はグラウンドと観客席が一体となり、試合の空気を左右する競技です。ラグビー部の生徒たちはスタンドで、グラウンドの選手にあわせて試合開始と終わりの整列の際に、審判の方の「礼」という声にあわせ、一礼をしてくれていました。

試合は前半に大きなリードを与えてしまった日新高校が劣勢で、6回終了時点では8点の差がついていました。このままでは規定によりコールド敗戦となる7回に2点を返しコールド敗戦を回避し、続く8回にはホームランを含め徐々に点差を詰め、3点差まで追いつく展開となりました。この時、試合の流れは日新高校にありました。このホームランが出て、試合の流れが一気に日新高校に傾いた瞬間、スタンドで応援してくれていたラグビー部の生徒の一人が、目を大きく輝かせ周りの仲間に「あるで、あるで」と声をかけていました。「逆転あるで」という意味です。

先ほども述べましたが、ある一場面の瞬間をとらえ、ジグソーパズルにしてみたときに、どの一つのピースも不必要なものはありません。どの一つのピースもその場面にあふさわしい色や模様をしている時は、全体のジグソーパズルは素晴らしく美しく輝いた一場面となります。スタンドで「あるで、あるで」と声をかけていた場面は、応援に来てくれているスタンドの生徒と、プレーをしているグラウンドの生徒が、離れた場所であっても同じ思いになっている一場面でした。見ていてとても輝いていて、美しく感じましたので紹介しました。2学期に予定されている文化祭、体育祭、修学旅行、また、日常のあらゆる場面においても心を一つにして日新高校としての輝きを放って欲しいと思っています。

このような一体となった場면을創れるお互いの生徒たちは、おそらく日常においても、輝いている場面を多く創造しているのではないかと感じます。夏休みも明け2学期が始まりますが、新型コロナの感染状況は厳しい状況にあります。このような状況においても、日常の行動、学校生活での行動に細心の気を配り、それぞれのピースがそれぞれの場面にあふさわしいジグソーパズルの絵柄であって欲しいと思います。自分勝手な絵柄のピースはチームのピースにはあてはまりません。では、2学期のスタート、良いスタートを切りましょう。